

新潟県の温排水等漁業調査結果報告書の
点 検 結 果 に つ い て

平成19年1月31日

東京電力株式会社

目 次

1. 経 緯	1
2. K-1・K-4復水器出口海水温度の改ざん	1
3. 点検内容	1
(1) 点検項目	1
(2) 点検方法	1
4. 点検結果	3
(1) 取放水口温度の比較	3
(2) 水温・流況の比較	3
(3) 水質・底質・生物（プランクトン、卵・稚仔、付着生物、底生動物） の比較	3
5. まとめ	4
表	5
表-1：取放水口温度（評価会議報告書－委託報告書）比較結果	
表-2：取放水口温度（評価会議報告書－当社所有記録）比較結果	
表-3：水温・流況および水質・底質・生物 （評価会議報告書－委託報告書）比較結果	

1. 経緯

柏崎刈羽原子力発電所1号機（以下「K-1」）および4号機（以下「K-4」）の復水器出口海水温度データ改ざんについては、平成18年11月30日に公表し、翌12月1日、新潟県知事・柏崎市長・刈羽村長から、原因の徹底調査と調査結果の全面開示、同様な問題がないか点検を行うとともに、再発防止対策の確実な実施に関する要請を受理し、平成18年12月27日に新潟県知事・柏崎市長・刈羽村長に「柏崎刈羽原子力発電所におけるデータ改ざん問題に係る総点検計画」について報告した。

この点検計画に基づき、新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議（以下「県評価会議」）の柏崎刈羽原子力発電所温排水等漁業調査結果報告（以下「評価会議報告書」）に記載されている内容について点検を実施した。

2. K-1・K-4 復水器出口海水温度の改ざん

K-1について、平成6年11月以降、復水器出口海水温度に対し、0.3℃差し引く改ざんが、K-4について、平成14年2月以降、復水器出口海水温度に対し、0.5℃差し引く改ざんを行っており、そのデータを当社が県評価会議へ報告している平成7年度以降の評価会議報告書における運転状況データの一部として引用していた。

3. 点検内容

（1）点検項目

県評価会議へ当社から報告している調査結果は、以下の3項目である。

- ① 取放水口温度
- ② 水温・流況
- ③ 水質・底質・生物（プランクトン・卵・稚仔・付着生物・底生動物）

点検は、至近年度である平成17年度について、全項目（①～③）を実施した。
なお、①の取放水口温度については、K-1 運転開始時の昭和60年度～平成17年度について実施した。

（2）点検方法

点検は、評価会議報告書と当社が所有する委託報告書の比較により実施した。

調査項目毎の具体的な点検方法を以下に示す。

なお、報告書に基づく点検を補完するために必要に応じて聞き取り調査を実施した。

a. 取放水口温度の点検方法

取放水口温度の点検は、以下の2項目の整合性を確認した。

- 評価会議報告書と委託報告書の比較は、平成元年度～平成17年度について行い、その整合性を確認した。

具体的には、評価会議報告書の「柏崎刈羽原子力発電所水温水平分布等温線図」に併記された取放水口温度と委託報告書記載の取放水口温度の比較を行い整合性を確認した。

- 評価会議報告書と当社所有の取放水口温度記録（チャート*¹, BOP*²）の比較は、昭和60年度～平成17年度について行い、その整合性を確認した。

なお、チャート記録については、今回の点検で再判読を行った値を用いて比較を行い整合性を確認した。

b. 水温・流況の点検方法

水温・流況の点検方法は、評価会議報告書と委託報告書の比較を行い、その整合性を確認した。

具体的には、評価会議報告書に記載された本文中の数値および「水温月別変化」、「水温水平分布等温線図」などの図表と委託報告書を比較し整合性を確認した。

c. 水質・底質・生物（プランクトン、卵・稚仔、付着生物、底生動物）の点検方法

水質・底質・生物の点検方法は、評価会議報告書と委託報告書の比較を行い、その整合性を確認した。

具体的には、評価会議報告書に記載された本文中の数値、「水質項目平均値の経年変化」、「植物プランクトン季節別出現状況」などの図表および付表と委託報告書を比較し整合性を確認した。

4. 点検結果

(1) 取放水口温度の比較

a. 評価会議報告書と委託報告書

平成元年度～平成17年までの評価会議報告書に記載された、588個の取放水口温度を比較した結果、委託報告書の誤記を訂正して県評価会議に報告したものを除くと4箇所の不一致が確認された。【表－1参照】

この4箇所の不一致については、以下に示すよう評価会議報告書作成時の技術的判断に基づく再評価および転記ミスが要因であり、データ改ざんは認められなかった。

- ① 復水器洗浄のための逆洗操作による影響が見られるとの技術的判断から再評価を実施したもの。 1箇所
- ② 調査時間帯の水温値のデータに揺らぎが認められることから、チャートの再判読、再評価を実施したもの。 1箇所
- ③ 取放水口温度差が小さく改ざんの意図は考えにくいため、評価会議報告書作成時の転記ミスと判断したもの。 2箇所

b. 評価会議報告書と当社所有の取放水口温度記録

昭和60年度～平成17年までの評価会議報告書に記載された612個の取放水口温度を比較した結果、6箇所の不一致が確認された。【表－2参照】

これらの取放水温度差は小さく、改ざんの意図は考えにくいため、委託報告書作成時に取放水口温度記録を誤って読み取ってしまったデータを評価会議報告書へそのまま転記したことが要因で、データ改ざんは認められなかった。

(2) 水温・流況の比較

評価会議報告書と委託報告書に記載された水温・流況に関する記述や添付図表は一致しており、データ改ざんは無い。【表－3参照】

(3) 水質・底質・生物（プランクトン、卵・稚仔、付着生物、底生動物）の比較

評価会議報告書と委託報告書に記載された水質・底質・生物に関する記述や図表および付表について比較した結果、委託報告書の誤記を訂正して県評価会議に報告したものを除くと、3箇所の不一致が確認された。【表－3参照】

この3箇所の不一致については、以下に示すよう評価会議報告書作成時の記入

漏れおよび誤記であり、データ改ざんは認められなかった。

- ① 委託報告書の表には記載されていた数値が評価会議報告書には記載されていなかったが、表の合計欄は2つの報告書で一致していることから記入漏れ。
2箇所
- ② 評価会議報告書に記載された表中の調査年月日欄が表計算ソフトの書式設定ミスにより文字化けしたことによる誤記。 1箇所

5. まとめ

当社が県評価会議へ報告している評価会議報告書に対して、K-1・K-4復水器出口海水温度の改ざんされたデータを一部引用していたが、それ以外の取放水口温度、水温・流況および水質・底質・生物の記載内容については、評価会議報告書と委託報告書および当社所有の取放水口温度記録と比較した結果、一部不一致はあるもののデータ改ざんは認められなかった。

*1:チャート：取水口・放水口付近で測定している水温データで、チャート紙により表示されたもの

*2:BOP：復水器出入口で測定している水温データで、デジタル値で表示されたもの

以上

表－1 取放水口温度（評価会議報告書－委託報告書）比較結果

対象年度	比較対照 データ数	比較結果		
		改ざんなし		改ざんあり
		一致	再評価または 転記ミス	
平成元年度～17年度	588	584	4	0

表－2 取放水口温度（評価会議報告書－当社所有記録）比較結果

対象年度	比較対照 データ数	比較結果		
		改ざんなし		改ざんあり
		一致	誤読	
昭和60年度 ～平成17年度	612	606	6	0

表－3 水温・流況および水質・底質・生物
（評価会議報告書－委託報告書）比較結果

対象年度	比較対照数*1	項目	比較結果	
			改ざんなし	改ざんあり
平成17年度	報告書 128頁 報告書(概要版) 10頁	水温・流況	一致	0
		水質・底質・ 生物	記入漏れおよび 誤記3データ	

*1 対照数の頁数は、評価会議報告書の頁の枚数を示す。